

海部老人ホームの 運営は行政の力で



藤元 雅文 議員

【問】 藤元議員
養護老人ホームは、65歳以上の経済的に貧しい高齢者や高齢者の中でも自力で暮らせない人を受け入れる施設で、人間らしく暮らせる最後の砦と言われている。今後、その重要性・必要

性は増していくと思われるが、本町における高齢者の数、高齢者世帯の推移及びホームの利用状況は。また、施設や職員に対する苦情等はあるのか。
民間は持ち出しになるような事業には手をださない。受けるはずれば、入居者へのサービスの低下させ、職員の待遇を悪くする以外に考えられない。民営化で現在のサービスが維持され、職員の待遇が改善される保障はあるのか。

【答】 福井町長
24年末から26年末の状況は、高齢者数は1335人から1409人へ。ひとり暮らし高齢者数は、574人から593人へ。高齢者世帯は、948世帯から993世帯と推移しており、満室で苦情も聞いていない。民営化した場合の職員の処遇は、類似施設に異動するか、町職員に任用するか、現在のホームに残り給与差額分を3町の組合で補填することになるかと思う。

絆も深まり活性化にもつながる。本町発展に貢献されている方の紹介、表彰規定の運用に力を入れるべきではないか。
【答】 福井町長
地域おこし協力隊が頑張っている。町HP、広報では掲載していないが再度検討する。

**TPP参加
本町への影響は**

【問】 藤元議員
TPPは関税だけではなく国のあり方まで影響を与える。これまで以上の弱肉強食の経済社会に引き込まれ、田舎は益々さびれることが予想される。本町への影響は。

【答】 福井町長
農産物や水産物の生産者に影響が出てくると思うが、関税撤廃に備えた保護政策を取っていくとすれば、その影響は限定的だと思う。

貢献者の努力に光を

【問】 藤元議員
「まちづくりは人づくり」という言葉があるが、町民の皆さんの自主的な立ち上がりが必要ならば、まちづくりや活性化などできる筈がない。その立ち上がりをどう作っていくのかというところが今後の大きな課題である。

今日までの町行政の反省点として、感謝と激励の気持ち、本町への貢献の働きに光を当てるということが不十分ではなかったか。
人は他人の頑張りを知らば、それを励みに頑張れるものである。そのことを通じて絆も生まれる。その輪が大きくなれば地域全体の



海部老人ホームにて保育園児との交流